

令和6年4月19日時点  
佐久地域振興局

横断的な課題	施策の柱	No	事業名 (主な担当課・所)	実績額(円)	事業実績・成果
「晴れやかな空の下、心晴れやかに暮らす」確かな生活の基盤づくり	医療・介護・生活支援の更なる充実と教育の強化	1	健やかプロジェクト～知ろう！食べよう！体を動かそう！みんな楽しく健康づくり・フレイル予防～ (佐久保健福祉事務所、東信教育事務所)	635,260	1 成果指標・目標値 ※括弧( )内は実績値 ・普及啓発キャンペーンによる普及啓発の場 増加(9回:6回増)) ・フレイル予防講座参加者の満足度(5段階中) 4.2以上(4.7) ・フォローアップ講座受講者の知識等の定着度(講座受講前後でアンケート) 講座前より向上(参加者のうち88%が向上) ・各種団体等が開催する教室への出前講座及び講師派遣回数と参加者数 6回以上、120人以上(10回、202人) 2 達成状況 達成 3 事業実績・成果 ○地域ボランティアの会議等に合わせて、キャンペーンを実施し、健康づくりやフレイル予防について普及啓発を実施した。フォローアップ講座では、ほぼすべての受講者(88%)が健康づくりに関する知識や実践方法についてステップアップしたと実感することができた。また、南牧村の健康福祉まつりでは、医療機関や職能団体と連携したブース出展を行い、他職種連携した普及啓発活動を実施することができた。フォーラムでは、地域で実践されているフレイル予防の取組について事例発表をしてもらうとともに、フレイル予防の第一人者である飯島勝矢先生(東京大学高齢社会総合研究機構)を招き、今日からできるフレイル予防について講演を行い、大変好評だった。(参加者160名) ○東信教育事務所と佐久保健福祉事務所が連携して食育ボランティア養成講座や公民館活動等へ講師を派遣するなど、主体団体のニーズに応じた講師派遣、講座開催を実施することができた。併せて、各種出前講座等にて運動用具の貸し出しについても周知を行い、貸出件数は前年度の2倍近くとなり、地域のニーズにしている。また、佐久市田口地区の文化財をガイドを受けながらボールウォーキングで巡る体験講座は、申し込み多数の人気講座となっており、参加者から高い満足度を得ている。 ○上記、啓発活動で伝えてきたエッセンスをまとめた「これさえ読めばなからわかる！フレイル」リーフレットを中村崇先生(健康福祉広域支援協会)、長野県栄養士会佐久支部の監修で作成した。次年度以降、本リーフレットを活用し、さらなる啓発活動を進めていく。
		2	佐久平プレメディカルケア産業創出事業 (商工観光課)	1,547,100	1 成果指標・目標値 ※括弧( )内は実績値 ・ワーキンググループ開催回数 5回(5回) ・新規個別プロジェクト件数 2件(2件) ・SAKUメッセブース来場者数 500人(600人) ・国際福祉機器展示会商談件数 10件(40件) 2 達成状況 達成 3 事業実績・成果 【実績】 ・地域企業が保有する技術を活用し、医療介護現場のニーズに対応した新たな個別プロジェクトを2件開始した。また、開発製品8件で約1億5,000万円の売上実績があった。 ・SAKUメッセにおいて、開発製品6件を出展し、地域の小中学生や高校生、一般の方など約600人に当事業について紹介した。 ・国際福祉機器展において、開発製品6件を出展し、延べ40件の商談を行い、新たな販路の足掛かりを掴んでいる。 【成果】 ・地域企業と医療機関等との連携による個別プロジェクトの累計は17件となり、開発製品の売上の累計は約14億4,600万円となった。開発製品の一部は、医療・福祉関係者から高い評価を受けており、今後の販売促進に向け期待できる。
	3	ゼロカーボンライフスタイル普及事業 (環境・廃棄物対策課)	56,661	1 成果指標・目標値 ※括弧( )内は実績値 ・ゼロカーボンミーティングの参加者数 30人以上(89人) 2 達成状況 達成 3 事業実績・成果 【実績】 ・「気候変動の現状」をテーマに、テレビ信州報道制作局 気象予報士・防災士の鈴木智恵氏によるリモート講演のほか、「気候変動への適応」をテーマに、長野県環境保全研究所 自然環境部 温暖化対策班 主任研究員 浜田 崇氏による講演を実施。 ・パネルディスカッションでは、農業、学校現場、観光、酒造の分野から4名のパネラーが参加した。 【成果】 ・鈴木氏の講演により、地球温暖化が及ぼす影響を改めて認識するとともに、個人ができるゼロカーボン推進としてどのようなものがあるか再認識するきっかけを与えることができた。 ・浜田氏の講演により、参加者が佐久地域における気候変動の状況を数字で認識できたほか、農業分野等における温暖化への適応技術の開発等を紹介し、「適応」への意識を高めることができた。 ・パネルディスカッションの中では、特に佐久地域に関心のある農業や観光の分野での議論が活発に行われ、参加者の理解を深めることができた。	

横断的な課題	施策の柱	No	事業名 (主な担当課・所)	実績額(円)	事業実績・成果
「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり	農林水産業、商工業の振興	4	佐久産農畜産物地消地産流通体制確立事業 (農業農村支援センター)	120,936	1 成果指標・目標値 ※括弧( )内は実績値 ・農畜産物食材リスト一覧の作成・送付 送付300施設以上(284施設) ・地元農畜産物の利用流通実態及び利用希望の調査票を送付・回収・集計 送付300施設以上、回収・集計150施設以上(送付:284施設、回答:84施設)  2 達成状況 未達成  3 事業実績・成果 ①流通関係者(市場、直売所、農業者)からの聞き取りにより、宿泊施設への佐久地域産農産物の供給状況について確認を行った。 また、流通体制を確立し、継続して取引を行うためには、宿泊施設側が佐久地域で栽培可能な農産物や旬について理解することが必要であるとの意見が出されたため、今度は宿泊施設への情報提供に対しても取組を行う。 ②佐久地域の特徴的な農産物の情報を記載したおすすめ食材リストを作成し、食事を提供している宿泊施設284施設に送付した。 ③佐久地域産農畜産物の利用実態調査を行うため、284施設にアンケートを送付し、84施設から回答があった。佐久地域の農産物を利用している施設は86%であるものの、意識的に仕入れている施設は45%にとどまる現状を把握した。 当初は300施設へのアンケート送付を目標としていたが、素泊まり等の食事提供を行わない施設を除いたところ、管内の対象施設が284施設であった。また、アンケートへの協力を呼び掛けたものの、想定より回答が得られなかったことから目標を達成することができなかった。 ④軽井沢ホテル・旅館組合に所属する宿泊施設に対して佐久地域産の養殖魚をサンプルとして提供した。利用した宿泊施設からの感想では利用の意向はあるが、市場を通じた流通が望ましいとの要望があった。
		5	生食ブルーンの美味しさを佐久地域から発信!	1,705,800	1 成果指標・目標値 ※括弧( )内は実績値 ・発信戦略策定 1件(1件) ・スタンプラリーへ参加予定のパティスリー店舗数 5件(5件) ・リーフレット利用者における満足度調査 回答者の7割以上が「満足」回答(集計中)  2 達成状況 未確定  3 事業実績・成果 ①生食ブルーンの市場調査 9月28日、29日に東京を中心とする首都圏におけるブルーン流通実態把握のため市場調査を実施した。ブルーンの流通状況や認知度、市場関係者からの評価などを実際に確かめ、以下の知見を得た。 (1)生産量が限られるブルーンは、現在の販売チャンネルをベースに、ターゲットを絞り、ファンやリピーターを徐々に獲得していく戦略を描くことが効果的。 (2)(1)の戦略のために、ブルーンの情報発信媒体(リーフレット・カード、WEBなど)を整備するとともに、美味しいブルーンをお客様に届ける努力が必要。 ①発信戦略の策定 ブルーン振興方針策定のため、関係機関との意見交換の場を設けた。 首都圏での市場調査の情報共有や佐久地域の生産販売の状況、出席者のご意見等を踏まえ、今後の振興方針となる発信戦略を策定した。 ②PRアイテム作成 ブルーンPRアイテム作成にあたり、9月に素材写真の撮影、1月～3月にかけてリーフレットの作成を行った。 佐久地域におけるブルーンの魅力発信に効果的な媒体を作成することができ、令和6年以降のブルーン振興に活用していく。 ③スタンプラリー形式によるブルーンスイーツイベントの令和6年度の開催に向け、準備を行った。 参加店舗の募集により、5店舗が決定しと試作品の製作依頼及び試作品の撮影を行った(9～10月)。
		6	温かい暮らしへ”お木変え”プロジェクト (林務課)	631,141	1 成果指標・目標値 ※括弧( )内は実績値 ・動画閲覧数 250回(474回) ・森林環境教育 体験・学習会 参加人数 20人(22人)  2 達成状況 達成  3 事業実績・成果 【PR動画】 動画作成委託に当たっては公募型プロポーザル方式にて公告し、(株)アイクを選定した。 動画作成業者ならではの環境問題関連の動画の取り込み、親しみやすいキャラクター(声優)の案内、佐久森林組合の作業や森林づくりに対する思い等、精力的に取材頂き、PR効果の高い動画が作成された。 動画は3月の公開以降400回以上再生され、目標値250回を達成することができた。 また国産木材の魅力発信拠点MOCTION(東京都西新宿)壁面スクリーンに4月～6月投影予定。 【森林環境教育】 高校生以上の県民へ、森林・林業が自然環境や私たちの生活に与える影響について、木材市場や木材の伐採、搬出現場等を見学し、佐久地域の「林業」や「森林の多面的な活用方法」を知っていただくと共に、将来の就業の選択肢として認識してもらえた。
		7	佐久っとサイクルプロジェクト (商工観光課)	552,845	1 成果指標・目標値 ※括弧( )内は実績値 ・JR小海線サイクリストイベントの乗車率 定員の8割(8割(40名)) ・推奨ルートの情報発信 10コース以上(11コース)  2 達成状況 達成  3 事業実績・成果 【実績】 ・JR小海線統括センターやJR東日本びゅうツーリズム&セールスと連携し、小海線で自転車を持ち込可能な団体臨時列車運行とそれにあわせたガイドツアーイベントを開催した。首都圏、近畿地方などからも参加があり、野辺山でのサイクリングの魅力がPRすることができた。 ・幅広い層への周知を行うため、佐久地域のサイクリングコース(周辺飲食店、観光スポット含む)を撮影したYoutube動画掲載を7本行った。また、小海線を利用して各駅の飲食店や観光スポット、見どころなどを含めたウォーキングコース「小海線に乗って魅力発見！」シリーズを4本ブログ掲載し、佐久地域における魅力について広く発信した。 【成果】 ・サイクリストイベント後の参加者へのアンケートでは、「また参加したい」が97%の回答を得るなど高い評価であった。「非日常的でワクワクした」「自転車をそのまま持ち込めてうれしい」などの感想をいただき、小海線を活用したサイクリングの普及につなげることができた。 ・Youtubeの合計視聴数が約1500回、ウォーキングコース「小海線に乗って魅力発見！」シリーズのブログのいいね数が合計60件以上となり、佐久地域のサイクルツーリズムや地域の魅力を多くの方に発信することができた。

横断的な課題	施策の柱	No	事業名 (主な担当課・所)	実績額(円)	事業実績・成果
「佐久の産業は粒ぞろい」未来につながる産業づくり	新たな価値観・行動を促した広域観光の推進	8	佐久地域日本酒・ワインツーリズム事業 (商工観光課)	1,680,804	<p>1 成果指標・目標値 ※括弧( )内は実績値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアー参加者 60人(62人)</li> <li>・ブース来訪者 300人(900人)</li> <li>・佐久地域の日本酒の消費拡大戦略策定 1件(1件)</li> </ul> <p>2 達成状況 達成</p> <p>3 事業実績・成果</p> <p>【「晴星」を活用したイベント列車】</p> <p>佐久地域星空トレイン「晴星」を使用し、「ほろ酔い飲み比べ列車」を実施。県内および首都圏から想定を上回る参加申込みがあった。</p> <p>車内では佐久地域の全ての日本酒蔵とワイナリーの酒と、2社のクラフトビールを提供した。好きな銘柄を見つけていただくことで、今後の購買につながることを期待される。さらには口コミ・SNSにより高品質な佐久地域の酒類の魅力を拡散してもらうことができた。</p> <p>俳句講座も同時開催し、紅葉の季節の風景を楽しみながら吟行を行った。コンテストの上位者に日本酒・ワインをプレゼントしたことも好評であった。</p> <p>【ワールドウイスキーフォーラムアフターイベント】</p> <p>小諸蒸留所ウイスキーフェスティバルの開催に併せ、脇本陣の宿桑屋の特設会場にて佐久地域のワイン・日本酒と特産品の試飲・試食、販売会を実施。ピークにはブース内が人で溢れるほど盛況であり、県内外のほか、外国人観光客に向けても、高品質な佐久地域の酒類をPRすることができた。また、主会場と特設会場を周遊するバスを増便したことにより、フェスティバル参加者のほとんどが特設会場での催しにも足を運び、地域のにぎわいを創出することができた。</p> <p>【若者たちが考える佐久地域の日本酒の消費拡大戦略】</p> <p>ワークテラス佐久管理運営責任者で「まちづくり系専門家」である柳澤拓道氏と公募職員2名が、11月13日にワークテラス佐久の会議室にて意見交換を行った。</p> <p>同公募職員が酒造及び日本酒関係実需者等からのヒアリングをもとにまとめた戦略(案)について、柳澤氏に説明し、柳澤氏の意見を伺った。</p> <p>柳澤氏から、「この事業を通じて皆さんはどんな社会を創りたいのか」との問いもあり、戦略の方向性が消費拡大のみならず、佐久地域の日本酒がもつ魅力を理解する消費者(若者層)の拡大が必要との認識が深まった。また県内の大学生と連携して佐久地域の日本酒振興をすすめるスキーム構築の戦略(案)が固まり、12月12日に局内で事業提案がされた。</p>
		11	佐久地域星空発信事業 (商工観光課)	133,144	<p>1 成果指標・目標値 ※括弧( )内は実績値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント参加者(ノベルティ配布) 500人(750人)</li> </ul> <p>2 達成状況 達成</p> <p>3 事業実績・成果</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3月10日(日)ラストランイベント</li> <li>・記念乗車証明書200枚配布、記念ステッカー300枚配布、佐久地域星空PRチラシ・パンフレット200セット配布</li> <li>○3月15日(金)列車最終運行日</li> <li>・記念乗車証明書250枚配布、記念ステッカー200枚配布、佐久地域星空PRチラシ・パンフレット200セット配布、佐久地域星空PRチラシ250枚配布</li> <li>○情報発信媒体での広報</li> </ul> <p>WEBこまち公式Xアカウントでのタイアップ広告掲載(リポスト90件、いいね数197件)WEBマガジンARURA掲載、鉄道WEBメディア1社掲載、信越放送出演、信濃毎日新聞掲載、FMさくだいら出演、佐久っとブログ(「晴星」ラストランイベント告知ブログ:シェア数107件)、イベント告知ポスターの掲示(しなの鉄道各駅:合計30枚)</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「晴星」の最終運行を契機とし、県民の皆様、鉄道ファン、アルクマファンなど、多くの方にイベントの開催やメディアの発信を通じて、佐久地域の星空の魅力について発信することができた。</li> <li>・限定グッズの「ラストラン記念ステッカー」、「記念乗車証明書」は各500枚作成したがすべて配布済みとなり、大変ご好評いただくことができた。グッズ配布時に佐久地域の星空PRチラシや、パンフレットを同封することで、星空資源の魅力についても発信することができた。</li> </ul>
「教育が人を呼び込む」首都圏からの利便性と人を活かした地域づくり	移住・定住、関係人口の増加に向けた取組の推進	9	佐久地域の移住スタイル発信事業(企画振興課)	780,117	<p>1 成果指標・目標値 ※括弧( )内は実績値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談会参加者 40名以上(33名)</li> <li>・参加者のアンケート満足度 80%以上(80%)</li> <li>・記事閲覧数 500件以上(342件)</li> </ul> <p>2 達成状況 一部達成</p> <p>3 事業実績・成果</p> <p>【個別相談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度以来となる首都圏での現地開催であり、関東圏から14組33名が参加。</li> <li>・実際に当該学校等に通学する子の保護者に先輩移住者として参加していただき、移住者の生の声を届ける等、佐久地域の魅力や学校団体と市町村の特色を広く周知できた。</li> <li>・周知期間が短い等周知方法に課題があり、参加申込者を延ばすことができなかった。</li> </ul> <p>【広告・記事掲載による情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談会の開催告知から当日のレポート記事を、多くの方に見てもらえるようWeb媒体を用いて情報発信した。</li> <li>・管内市町村のアピールポイントや佐久地域全体の特色を詰め込んだ記事を、移住情報誌大手のTURNSのサイトに掲載したことにより、個別相談会に参加していない層にも情報を届けることができた。</li> <li>・掲載期間を長くとったため、閲覧数の目標値を昨年度実績値(297件)より高く設定したが、閲覧数の伸びは記事掲載直後が最も多く、一定期間経過後は想定より閲覧数が伸びず、目標を達成できなかった。</li> </ul>

横断的な課題	施策の柱	No	事業名 (主な担当課・所)	実績額(円)	事業実績・成果
地域計画の推進のために必要な事業		10	佐久管内県機関及び市町村等の情報発信事業 (総務管理課)	594,000	<p>1 成果指標・目標値 ※括弧( )内は実績値 ・情報発信を実施する県・市町村等関係機関(所属)数 10機関(17機関)</p> <p>2 達成状況 達成</p> <p>3 事業実績・成果 【fmラジオコーナー放送】 ・fmさくだいらにおいて、毎月2回第2・4火曜日17時30分から約8分間の番組「長野県情報宅配便佐久つとラジオ」を合計24回放送した。佐久管内県機関や市町村等17機関に出演してもらい、県が取り組む各種啓発月間の広報、事業の紹介、イベントの広報等、県民に伝えたいタイムリーな情報を発信した。 ・出演者が固定化しつつあることが課題だったため、これまでに出演したことのない小諸商業高校の生徒や、小海町役場職員にも出演を依頼し、内容の充実を図った。 【地元の紙メディア媒体への広告掲載】 県主催の一般参加者を募集する3件のイベントについて広告を掲載した。どのイベントも多く的一般の方が参加し、集客の一助となった。</p>

執行区分	令和5年度	令和4年度
当初予算額(A)	9,135,000	9,765,000
実績額計(B)	8,437,808	7,082,081
執行残額(A-B)	697,192	2,682,919
執行率(B/A*100)	92.4%	72.5%

評価区分	令和5年度	令和4年度
達成	8事業	1事業
一部達成	1事業	5事業
未達成	1事業	2事業
合計	10事業	8事業

※未確定の1事業は含めず